

リアルタイム現地情報

令和7年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催しました

7月9日（金）、普及センターは令和7年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催し、水稻生産者の会員10名が参加しました。

現地研究会では、銚田管内のイネの生育状況を把握するために設置している定点圃場や、新規に開発された除草剤の効果を確認するための技術確認圃、米粉用米品種「笑みたわわ」への長期肥効型肥料の効果を確認するための技術確認圃など4か所で現地検討を行いました。参加者は雑草抑制効果の高い新しい除草剤や米粉用米品種特性、肥料の効果について大変興味を示し、除草剤の施用法や肥料の投入量など具体的な栽培技術について熱心に質問していました。

普及センターで情報提供した近年問題となっている高温への対策や、多発生しているカメムシ対策についての質問も多く、ぜひ対策を講じていきたいといった前向きな意見が聞かれました。

また、現地を巡回する途中でスクミリンゴガイの被害圃場や、水路に発生しているナガエツルノゲイトウについても確認し、発生圃場が拡大しないように対策を行いたい等といった意見が出るなど、関心の高さが伺えました。

普及センターでは、今後も水田農業における省力化や収量向上を推進し、儲かる農業実現に取り組んでいきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長農業）